

伊達な旅ガイド

Vol.129

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

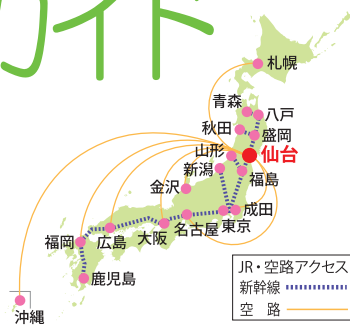
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中



宮城県
観光PRキャラクター
むすび丸



JR・空路アクセス
新幹線
空路

今回の伊達な旅MAP

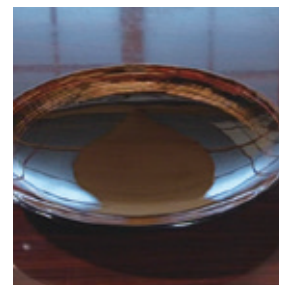


JR東北新幹線古川駅下車／東北自動車道古川ICから

7月15日
放送

技が光る! 大崎の職人たち

伊達政宗公が仙台に築城する前に住んでいたのが大崎市岩出山。ここでは、旧藩時代に下級武士の内職で作られていた「しの竹細工」を今に伝える「竹工芸館」があります。ざるやかご、オブジェなどの作品を見ることができるほか、竹細工の手作り体験をすることもできます。また、大崎市鳴子では、美しい「鳴子漆器」も作られています。伊達武者に思いをはせながら、大崎で伝統工芸に触れてみませんか。



しの竹細工

柔軟で弾力があるしの竹の特徴を生かした工芸品。機能性にも優れています。

竹工芸館

Tel.0229-73-1850

ざるやかごといった竹細工の作品の見学や、竹細工体験もできます。



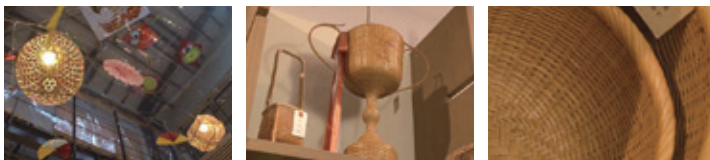
竹細工指導員 千葉 文夫さん

「細い竹で編んでいるのでできあがった作品は丸みをおびています。また、竹の表皮を内側にして編んでいるので、中はつるつとした感触。この中でお米を研ぐと、手に優しく、水はけもよいですよ。竹細工が一通りできるようになるには、2、3年はかかります。自分の腕ひとつで、自分の思い浮かんだものができたときは、最高にうれしいですね。やっぱりそれが手作りの良さだと思います」



千葉さんの作品

ランプシェードや優勝カップなど、さまざまな竹細工の作品を創作しています。



なるこしき

鳴子漆器

平成3年に国の伝統的工芸品に指定。使い込むと黒から茶色に変わってくるのが特徴です。

後藤漆工房

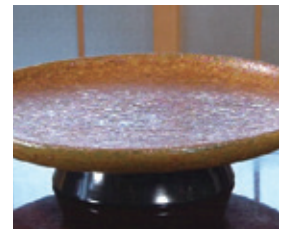
伝統工芸士 後藤 常夫さん

「艶出しを3回4回繰り返さないと、美しい艶にはなりません。この技術を後世に残したいのですが、10年も15年もの勉強が必要になるので難しいと思っています。私も、まだ50年。それでもなかなか満足のいくものは作れません」



後藤流漆器

タバコの葉で作った模様の特徴。



深みのある器。



ZOOM UP

漆を塗る刷毛の秘密

丈夫な刷毛を作るために「女性の髪の毛」が使用されています。

